

# ひろば大代

NO.448

大代まちづくり  
センター

H28.11.23

## 大代まちづくりを終えて

高山公民館館長 田中正治

十月十日(月)に「砂時計のロケ地、パワースポット・ミステリースポット何でもある町 大代町」をテーマに大代町まちめぐりを実施しました。

ロケ地として木村酒造周辺や飯谷周辺、パワースポットとして石清水八幡宮と山辺八代姫命神社を散策しました。講師として石清水八幡宮は藤田宮司さん、その他を佐藤哲朗センター長さんにお問い合わせし、多くの資料とわかりやすい説明で参加者から好評を得ました。ありがとうございました。

さて、多くの魅力ある場所のうち、特にみなさんが興味を持たれたものは山辺八代姫命神社の拝殿にあった俳句の奉納額でした。

天保とは読めるが後はよく分かりま

せんでした。公民館でなんとかとの話になり大田市と連絡を取りましたが、結局は出雲古代歴史博物館の岡宏三先生に文字の判読とこの額の価値について調べてほしいとお願いをしました。早速に返事をいただきましたのでみなさんに紹介します。



(岡先生の原文より)

『奉納額の画像、拝見しました。奉納額の内容は以下のとおりです。』

奉納俳譜発句合(ほうのうはいかいほつくあわせ)

撰者 浪華 花屋庵宗匠かおくあんそうしやう

以下、大家、湯谷、井田、多根、大田、川本、福原などの俳人の句

判者 鼎左ていざ

興行 石鼎・自楽せきてい

願主 秋水・思溪

千時天保十四発卯春三月日

これは、この地域一帯の俳人達の句を、大坂の俳譜宗匠である花屋庵鼎左(藤井鼎左。1802〜1869)に選句してもらい、奉納額に仕立てて山辺八代姫命神社に奉納したものです。これを企画したのが願主の秋水と思溪(いずれも大家の人)で、句会の開催等を周旋実施したのが自楽と石鼎(いずれも大家の人)。

秋水ら奉納額に名を連ねる人々は、大坂で名の知られた花屋庵鼎左に、選句料を添えて選句してもらい、自分たちの活発な活動ぶりを世に示す意味合いも込めてか、こういう形で奉納額と

して掲げたのだろうと思います。奉納額の製作等の経費は願主が主に負担したのでしよう。

花屋庵鼎左は備後出身。大坂に出て菅沼奇淵に俳譜を学び、後に奇淵の後を継承して大坂南久太郎町南御堂前の、松尾芭蕉の終焉の地である花屋の傍らに住んだことから花屋庵を号しました。「浪華五百題集」、「海内人名録」、「四季部類大全」を編輯するなど活躍しています。8年前には、伊丹市の柿衛文庫で鼎左の企画展が開催されたこともあるようです。

石見銀山領は天領として栄え、中島魚坊を輩出しているように、俳譜が盛んでした。こうした奉納額は、その頃のこの地域の文化力、教養の高さを物語るものです。

奉納額は、建物の外に掲げてあると劣化がすすみますが、拝殿内に掲げてあれば長持ちします。どうも濡らした雑巾で汚れを拭き掃除した痕跡がみられますが、おかげで額の枠や墨書の文字が薄くなっています。お掃除される時は、はたきを掛ける程度にされたほうがいいと思います。』

どのような俳句が出てくるのか大変楽しみにしていますし、先生の文章の中にあるように大代町の文化力、教養の高さを物語るもので、地域の宝です。いつまでも大切にしていって欲しいものと思います。

### 地域めぐりに参加して

下市 永井恵子

十月十日「高山地域めぐり」に参加しました。大代町の神社と映画「砂時計」のロケ地をめぐりました。

「石清水八幡宮では、藤田宮司さんから由緒など書かれた資料を頂き、お話を聞きました。資料の最後に書かれていた一カ所が気になりました。

それは大家の町の中に、旅館八軒、酒造業七軒もあったことです。大家で生まれ育った人なら知っておられる事ですが、他から嫁いできた私には現在と比べると、「嘘でしょう？」とびっくりです。何処にあったのでしょうか？  
八幡宮の帰り際、一緒に参加していた人から、「大杉の木を下から見て」と言われ、見上げた瞬間、「ワア！」。



石清水八幡宮にて



しばらく見てみると心が「スー」とする様な感じがしました。これぞ「パワースポット」だ。今まで神社に参拝しても大杉を見上げることはありませんでした。スギ花粉症の私には昨日までは迷惑な木でしたが、今日からは三本の

となりました。

次は「山辺八代姫命神社」へ。ここは一度来たことがあり、参道は綺麗に整備されていきました。その時はとても天気が良い日だったので、木々の間から木漏れ日が差し込み、絵のようでした。

今回は、前回ののような天気ではなかったのですが、やはり参道は何か心が「ほっと」するような。ここも「パワースポット」です。



山辺八代姫命神社

神社本殿には菊の御紋が光り輝いていました。由緒ある神社であることは間違いないですね。拝殿の中には、奉納俳諧発句会で奉納された俳句が書かれています。

板に書かれた句は、今にも消えてしまいそうな状態です。消えないように何んとかできないのでしょうか？消えてしまうと勿体無いですね。

3時間位の短い時間でしたが、石清水八幡宮と山辺八代姫命神社のすばらしさ、大代町の歴史的に由緒あることを再確認したひと時でした。

### 健康ウォークに参加して

川上 岩田律枝



去る十月三十一日、本郷一周ウォーキングに出かけました。ソバ道場に十時集合で、十人の参加でした。

私もこのところ、腰痛に悩まされ、十分動いて十分休憩する、又毎日の散歩も、一度腰をおろして休まないと続けられません。こんな状態で皆さんについて歩けるのか不安がありました。自分を試すために参加しようと思ひ、

出かけました。

曇りの天気で歩くには丁度良い天気でした。歩く途中の草花を見て話し、鈴なりの柿を見て、あれは渋柿、あれは西条柿等とおしゃべりが続き……。又、ムカゴを見つけては採ってポケットに入れる人、おいしいムカゴ御飯が出来ましたやら？

本郷の坂を登りつめて、お弁当の時間です。中国山脈の見渡せる道路端に、腰をおろしておむすびをほおぼりました。中国山脈に薄い霧が架かっており、それを「くよし」の煙だという人もあり、和やかなお弁当の時間でした。

お弁当が終れば帰路に就くだけです。平らな道をしばらく行くと、今度は下りばかりです。途中、室田さんの家にお邪魔して温かいコーヒーを御馳走になり、元気にソバ道場に到着しました。室田さん大変お世話になりました。

私も皆さんに元気を貰いながら、はぐれない様に帰る事が出来ました。それが私にとって一番嬉しい事でした。あの家はどこの家、この家にはあの人が住んでおられた等と話しながら、

何十年前まではこの空き家にみんな人が住んでおられたのに・・・。  
時の流れを感じるウォーキングでもありました。



**しめ縄作り講習会のお知らせ**

日時 12月5日(月) 午前9時  
場所 まちづくりセンター  
講師 久利町 加藤和俊氏  
持参するもの(ペンチ・ハサミ)  
参加申し込み12月2日までに

**俳句**

あすなる句会

冬立と 日を確かめつ 空仰ぐ  
みかん剥く 手のそれぞれに 齢を経る  
柿田 横手いちえ

孫と娘と みかんを土産に 訪れる  
海山の 恵み供へて 秋祭り  
椿 花田時子

支へられ お蔭で参る 秋祭り  
参加賞 貰ひ喜ぶ 運動会  
八反田 森 信子

湯上りに 殊更旨し みかんかな  
宮島の 鹿の寄り来る 観光地  
川上 岩田律枝

小春日や 読経の響き 里一ト日  
山里の 重機こだます 秋深し  
椿 柿丸寿枝

夫の背も わが背も丸く 冬紅葉  
可も不可も 無き明け暮れや  
蜜柑剥く

※訂正してお詫び申し上げます。  
先月号No.447の4頁3段4行目

誤 ↓ 人住む 正 ↓ 一人住む



● 10月23日(日) さわやかな秋日和のなか、石清水八幡宮例大祭が行われました。御神幸では普段静かな町内を「わっしょい！わっしょい！」と賑やかな声が響き、まちづくりセンターのグラウンドで神事が執り行われました。



**12月行事予定**

- ▼ 28日(水) 仕事納め
- ▼ 23日(金) 連合自治会
- ▼ 20日(火) さくらんぼ教室
- ▼ 11日(日) 福祉弁当
- ▼ 9日(金) クリスマス会
- ▼ 5日(月) お正月用しめ縄作り

